



毎日暑いが続いています。子どもたちは、暑さの中でも夢中になって遊んでいます。保育園でも熱中症対策はしていますが、ご家庭でも水分補給等十分気を配りましょう。また、夏休みに遠出されるかたも多いと思います。体調やけがに気をつけながら、楽しい夏の思い出をつくりましょう。

## 突然現れる「じんましん」

突然、体のあちこちに赤く盛り上がった発しんができ、強いかゆみがあるときは、じんましんかもしれません。



特定の食べ物や薬に対するアレルギー反応であることが多いのですが、花粉やストレスが原因のことも。原因がはっきりしないこともあります。

数時間～数日で自然に治りますが、かゆみが強いときは水でぬらしたタオルなどで冷やすと和らぎます。



のどにできた発しんが気道をふさぐと呼吸困難やショック症状を伴うことがあるので注意し、そんなときはすぐに受診してください。



※上記写真は小児参考資料より引用

最近、保育中に蕁麻疹が出る子供が多く、仕事中に保護者のかたへ連絡することもあります。保育園では蕁麻疹が出た時には写真をとりお渡ししております。場合によっては、病院への受診をお願いする場合がございます。ご協力お願いいたします。

夏にはやる病気 こんな症状に注意しよう！

**手足口病** 今年は全国的にはやっています。

手のひら・足の裏・口の中に小さな（米粒大）の発疹や水泡ができる手足口病。実はおしりや皮膚の柔らかいところにもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすることもあります。

**ヘルパンギーナ** のどの奥に水泡ができます。のどの痛みが強く、高熱がでます。

**咽頭結膜炎（プール熱）** 突然 38～40℃の高熱が出て、のどのはれや痛みと同時に、結膜炎（眼やに 目の痛み 充血 涙など）が起こる。症状が消えてから、2日経過するまで登園禁止。

**流行性角結膜炎（はやり目）** 充血と目やに、まぶたの腫れや異物感・痛みなどが起こる。

\*発熱や下痢を伴う場合もある。